

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：金融対策費

事業名 岐阜県新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 商業・金融課 資金融資係 電話番号：058-272-1111(内3062)

E-mail：c11363@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,481,266 千円 (前年度予算額：4,060,777 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,060,777	4,060,777	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,481,266	4,481,266	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症の影響により、経営が厳しくなっている中小企業者等を支援するため、「岐阜県新型コロナウイルス感染症対応資金」の融資を受けた者のうち、一定の要件を満たした場合、融資実行より3年間、県が全額利子補給を行い、県内中小企業者の資金繰りを支援する。

(2) 事業内容

- ・利子補給対象者：新型コロナウイルス感染症対応資金の利用する者のうち、次のいずれかに該当する者
 - ア 個人事業主（小規模に限る）・・・新型コロナウイルス感染症の影響により5%以上売上高等が減少した者
 - イ 小・中規模事業者（上記を除く）・・・新型コロナウイルス感染症の影響により15%以上売上高等が減少した者
- ・融資限度額：運転・設備合わせて 6,000万円
- ・融資利率：年1.4%（上記要件を満たした場合、貸付実行より3年間、県が全額負担する）
- ・償還期間：運転・設備10年以内（据置いずれも5年以内）
- ・申込期間：令和2年5月1日～令和3年3月31日
(実行は令和3年5月31日まで)

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・融資利率年1.4%のうち一定の要件を満たした場合、貸付実行より3年間、県が全額負担（事業者負担ゼロ、4年目以降は年1.4%負担）
 - 令和2年度実行分（3,860,014千円）
 - 令和3年度実行分（621,252千円）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,481,266	貸付実行より3年間県が全額利子補助
合計	4,481,266	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

全国統一制度のためすべての都道府県で利子補給の支援措置を実施している。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少などにより、急激な資金繰りの悪化に見舞われた中小企業者に対して利子補給を行うことにより、利子負担を軽減し、経営の安定化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①岐阜県下企業倒産月報（TSR情報）暦年・件数	136件	125件	136件以下	136件以下	136件以下	109%
②岐阜県下企業倒産月報（TSR情報）暦年・負債総額	16,007 百万円	22,082 百万円	16,007百 万円以下	16,007百 万円以下	16,007百 万円以下	73%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2 年度	<p>令和2年度上期支払 対象：R2.5～R2.9に支払いのあった利子11,008件の融資に対して、総額687,504千円の利子補給を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少などにより、急激な資金繰りの悪化に見舞われた中小企業者に対して利子補給を行い、利子負担を軽減することができた。</p>
令和3 年度	<p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和4 年度	<p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	新型コロナウイルス感染症の影響により、経営が厳しくなっている中小企業の利子負担を軽減することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	R2年度県内倒産企業の負債額は、R1年度より増加したが、件数は減少しており、終期目標を達成できるペースと評価できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	申請や請求等の事務を融資実行した金融機関が行っており、利子補給を迅速に行えるようにしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 金融機関からの申請後、迅速に事業者へ支給を行う。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症対応資金の融資実行より3年間県が全額利子補給する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】